

平成 19 年度水産研究部研究評価委員会（事後）評価結果

1. 日 時：平成 20 年 3 月 10 日（月） 11:00 ~ 16:00

2. 評価対象研究課題と評価結果

評価項目 評価対象研究課題	目標の達成度				技術の発展性				技術移転・普及性の具体性			今後の研究方向		
	A	B	C	D	1	2	3	4	1	2	3	1	2	3
イセエビ種苗 大量生産技術開発		4			4					2		2		4
トラフグ資源増大 技術開発		4			1	2		1	2		2		4	
英虞湾漁場環境 基礎調査		4			2	2				1	3	1	3	
淡水魚の多様性保全 に関する研究		4			2		1	1	2		2		4	

注) 表中の数字は研究評価委員 4 名の評価結果(人数)

【目標の達成度】

- A: 目標以上達成
- B: ほぼ目標通り
- C: 一部不十分
- D: 不十分

【技術の発展性】

- 1: 課題全体としての発展性あり
- 2: 一部の中小課題について発展性あり
- 3: 発展性は少ない
- 4: その他(技術の発展性を評価すべき課題ではない)

【技術移転・普及性の具体性】

- 1: 技術移転の可能性あり
- 2: 製品化・普及への具体性あり
- 3: 技術情報として有効

【今後の研究方向】

- 1: 新規課題として未完成技術の開発を図る
- 2: 未達成課題については継続して完成させる
- 3: 課題を終了する

3. 評価結果のまとめ

(1) 目標の達成度

いずれの課題についても、ほぼ目標通り達成できたとの評価を頂いた。

(2) 技術の発展性

概ね全課題で「技術の発展性がある」との評価を頂いた。

(3) 技術移転・普及性の具体性及び今後の研究方向

技術が確立されれば移転、普及が期待できるが、その実現にはまだ解決すべき課題が多く、今後も研究を継続して達成されたいとの意見を頂いた。また、現時点では技術移転の具体性に欠けるが、技術情報としては有効であるとの意見も頂いた。

委員会において頂戴した意見を、課題解決に向けた新たな研究等に反映させ、技術の移転・普及を実現していきたい。